KC#650

KC650

2.5 主要支持部材の幾何学的性能

2.5.1 主要支持部材の有効せん断面積

2.5.1.1 主要支持部材の有効ウェブ面積に対して，ウェブ深さ（h_w）は主要支持部材の型高さとする。

2.5.1.2 主要支持部材に対して，有効ネットウェブ面積（$A_{w\text{-}net50}$）は以下の規定による。

$A_{w\text{-}net50} = 0.01\ h_n\ t_{w\text{-}net50}$ （cm^2）

h_n 図 **4.2.16** に示す単船殻構造の主要支持部材の有効ウェブ深さで，次式による値のうち小さい方の値とする。（**2.5.1.4** 参照）

(a) h_w

(b) $h_{n3} + h_{n4}$

(c) $h_{n1} + h_{n2} + h_{n4}$

二重殻構造の主要支持部材においても，同様の方法により有効ウェブ深さを決定しなければならない。

h_w ：主要支持部材のウェブ深さ（mm）

h_{n1}, h_{n2} ：図 **4.2.16** 参照

h_{n3}, h_{n4}

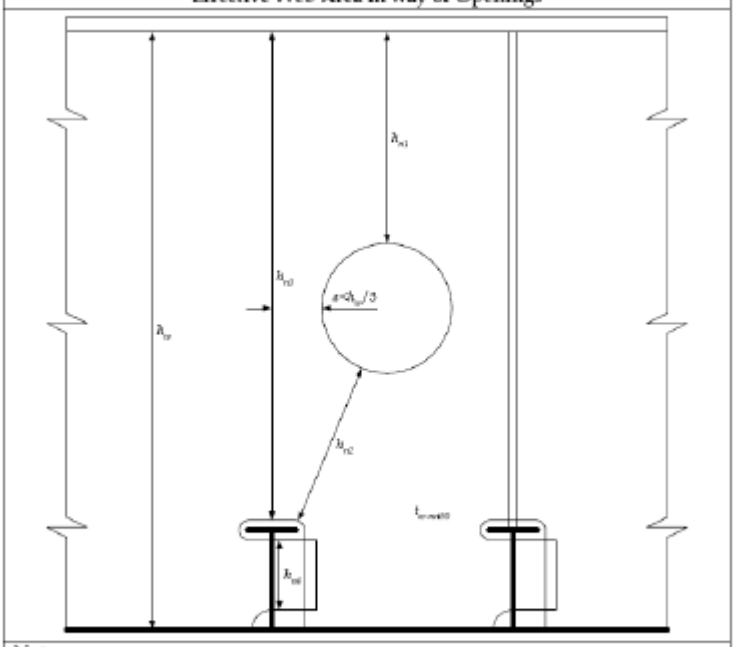
$t_{w\text{-}net50}$ ：ウェブのネット板厚（mm）

$= t_{w\text{-}grs} - 0.5\ t_{corr}$ （mm）

$t_{w\text{-}grs}$ ：ウェブのグロス板厚（mm）

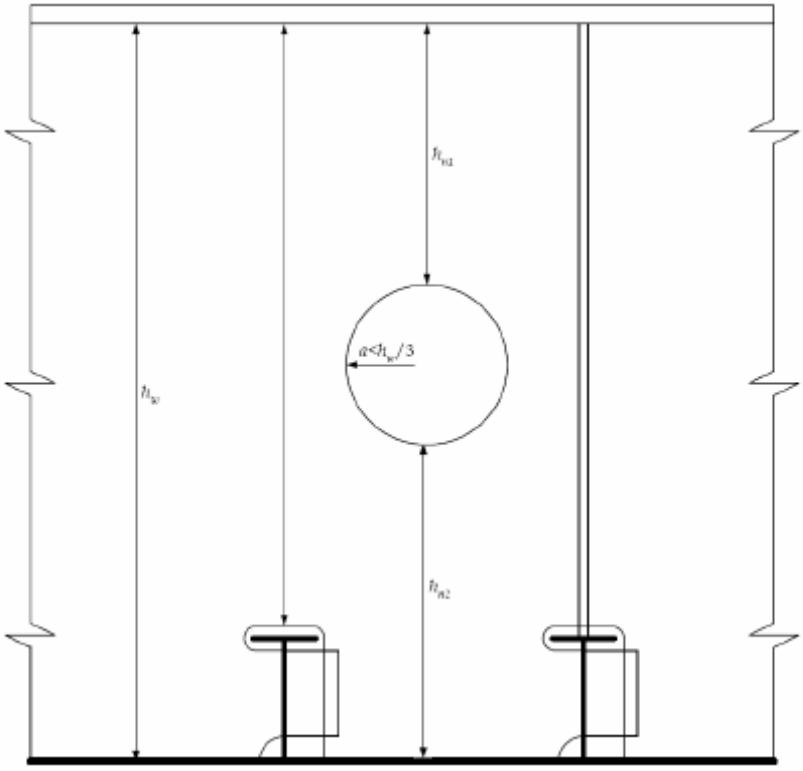
t_{corr} ：**6** 節 **3.2** に規定する腐食予備厚（mm）

Figure 4.2.16
Effective Web Area in way of Openings



Note
The figure shows effective web height for a single skin primary support member. The effective web height of a double skin primary support member follows the same principles.

“Vertical method”

Shear area is adjusted based on the ratio $h_w/(h_{n1}+h_{n2})$ measured vertically.

せん断面積は、垂直に測られた hw と (hs1+hs2) の比(hw/(hs1+hs2))に基づき調整される。